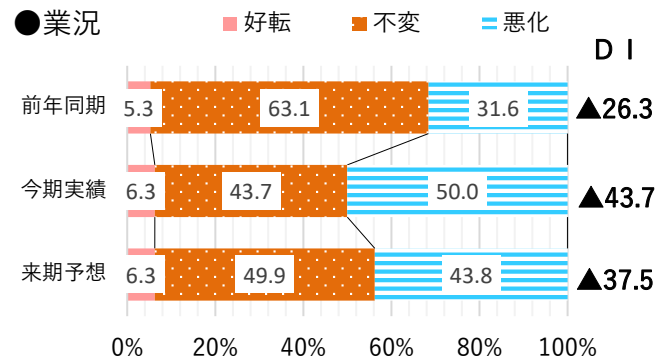


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

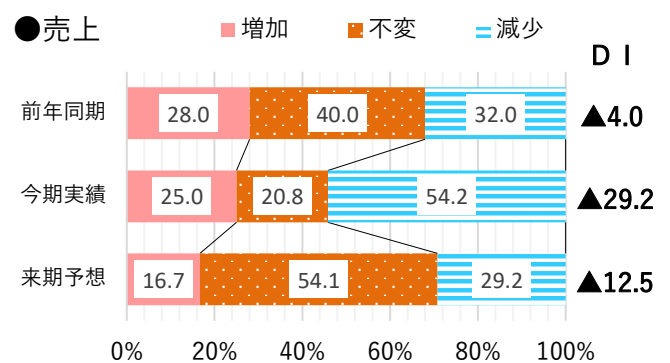
今期（2020.4～6）の業況判断DIは▲43.7で、前年同期（2019.4～6）と比べ17.4ポイント低下しました。

来期（2020.7～9）は、業況の悪化傾向が続くと予想しています。



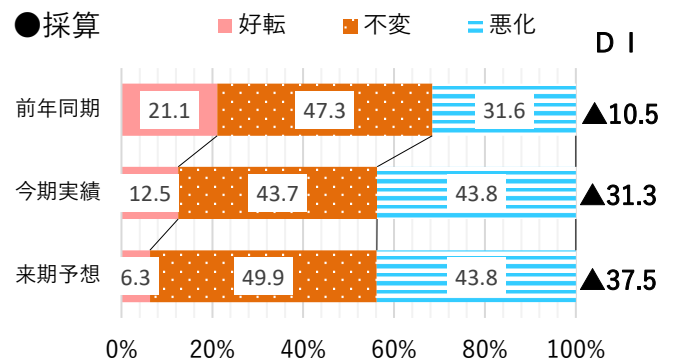
今期の売上高DIは▲29.2で、前年同期と比べ25.2ポイント低下しました。

来期は、売上の悪化傾向が弱まると予想しています。

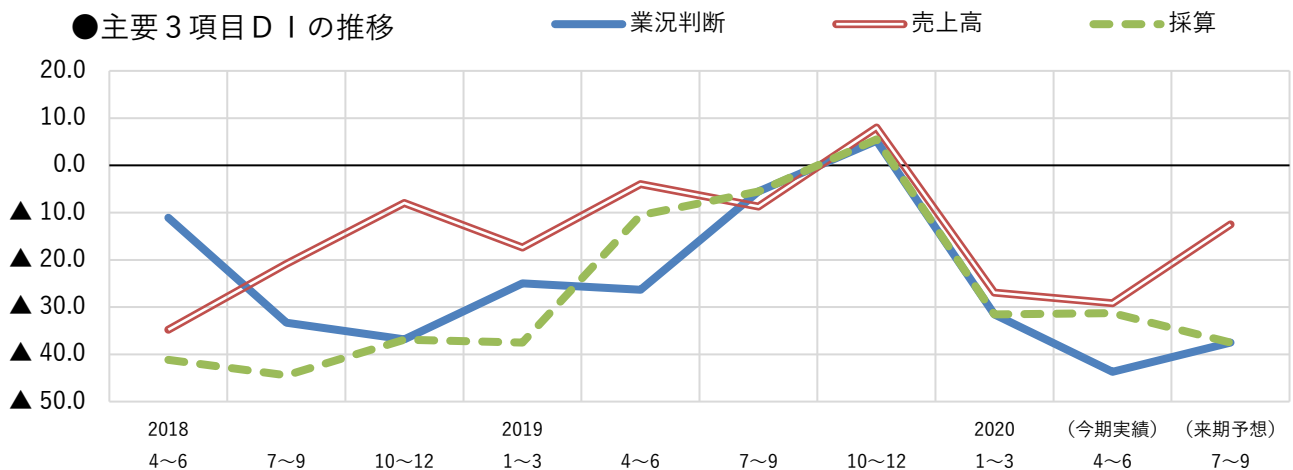


今期の採算DIは▲31.3で、前年同期と比べ20.8ポイント低下しました。

来期は、採算の減少傾向に大きな変化はないと予想しています。



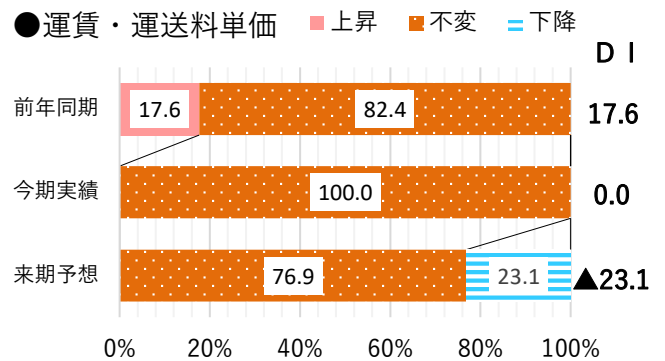
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

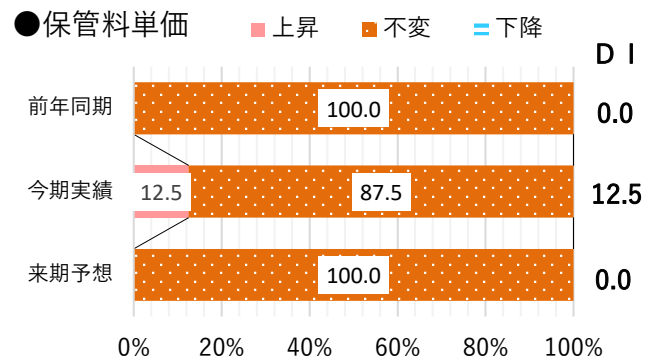
今期の運賃・運送料単価DIは0.0で、前年同期と比べ17.6ポイント低下しました。

来期は、運賃・運送料単価が下降すると予想しています。



今期の保管料単価DIは12.5で、前年同期と比べ12.5ポイント上昇しました。

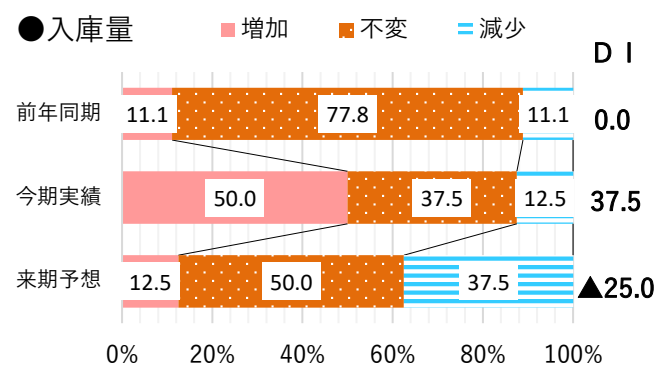
来期は、保管料単価の上昇傾向が落ち着くと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

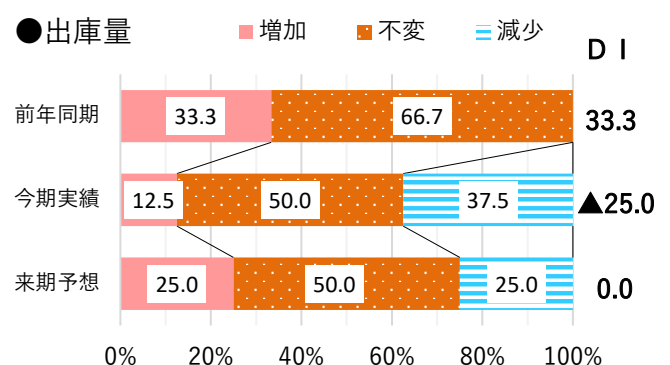
今期の入庫量DIは37.5で、前年同期と比べ37.5ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、入庫量が減少に転じると予想しています。



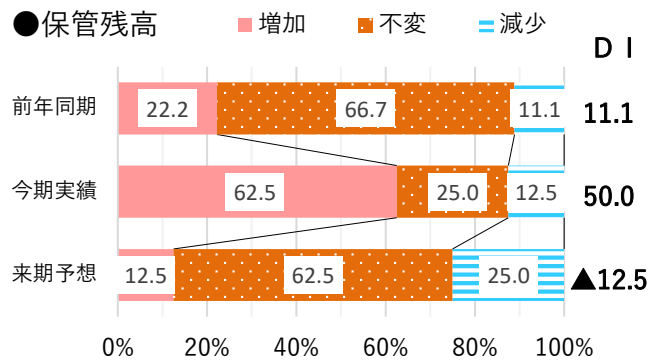
今期の出庫量DIは▲25.0で、前年同期と比べ58.3ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、出庫量の減少傾向が落ち着くと予想しています。



今期の保管残高DIは50.0で、前年同期と比べ38.9ポイント上昇しました。

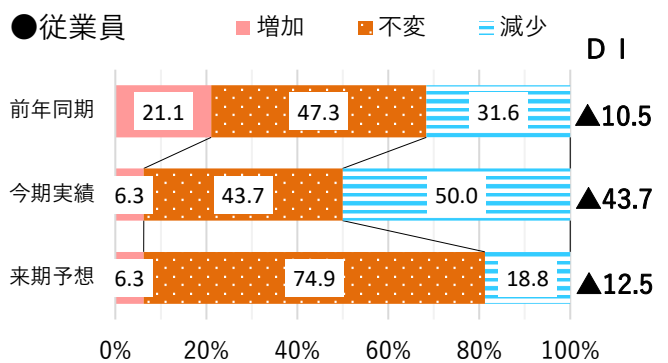
来期は、保管残高が減少に転じると予想しています。



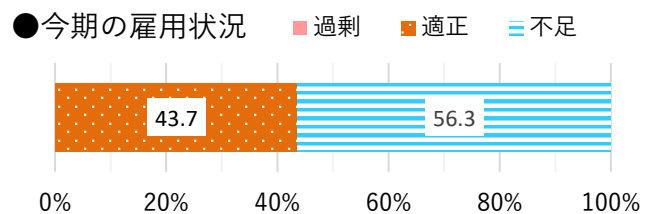
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲43.7で、前年同期と比べ33.2ポイント低下しました。

来期は、従業員の減少傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は43.7%、不足していると回答した企業の割合は56.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の43.7%を占めています。

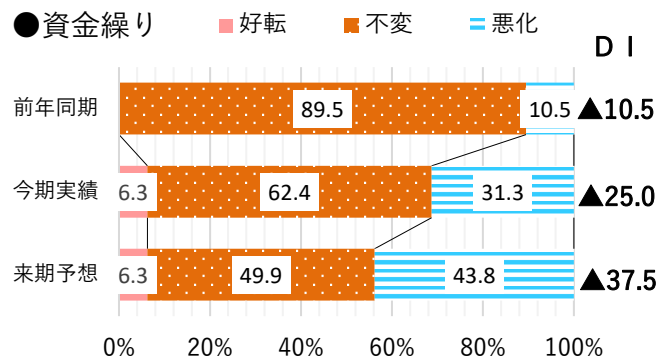
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	6
	不足	1
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	7

資金繰り、設備投資

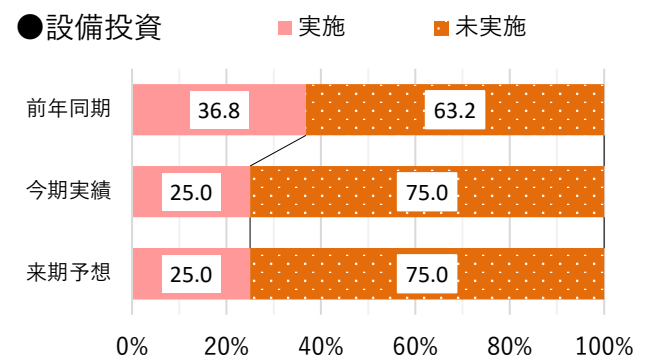
今期の資金繰りDIは▲25.0で、前年同期と比べ14.5ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。



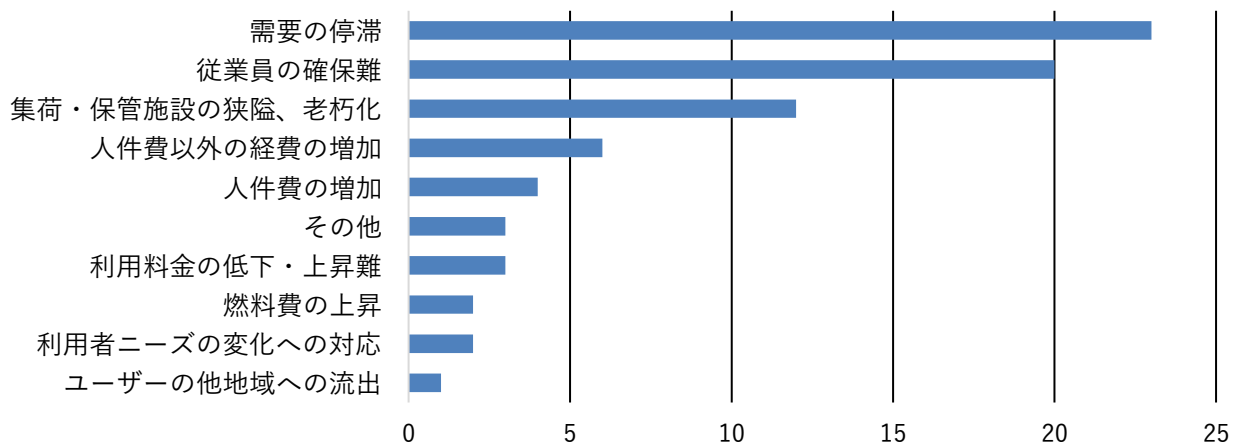
設備投資を実施した企業の割合は25.0%で、前年同期と比べ11.8ポイント低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、「その他」（同位）、2位が「OA機器」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は25.0%で、横ばいを予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「従業員の確保難」、3位が「集荷・保管施設の狭隘、老朽化」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 輸送部門の売上は、新型コロナウイルスの影響で関西方面への貨物が減少したため、落ち込んでいる。倉庫部門の売上は、国産小麦等の保管により増加した。人材は不足している。(道路貨物運送)
- 飲食店の休業や学校給食の中止のため、道内での農産物、水産物、生乳などの輸送が減少している。(道路貨物運送)
- 今のところ、新型コロナウイルスの影響は小さく、売上はわずかな減少に留まっている。(道路貨物運送)
- 燃料費が低下し、売上が減少したが、業況に大きな影響は無かった。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルスの影響で、壊滅的な状況にある。(道路旅客運送)
- 売上が減少した。(道路旅客運送)
- 消費の停滞に伴い、在庫量が減少したため、業況が悪化した。(倉庫)
- 在庫量の増加により、売上が増加した。(倉庫)
- 緊急事態宣言によって、旅客が大幅に減少した。飲食店の経営自粛により、物流も停滞感がある。(水運)

[来期の業況について]

- 新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか予想できない。(道路貨物運送)
- 新幹線関連の大型公共工事など、明るい兆しがある。(道路貨物運送)
- 貨物の減少を危惧している。(道路貨物運送)
- 今期の売上は最低水準まで低下したので、来期の売上は横ばいだと思われる。(道路旅客運送)
- 売上の回復は期待できない。(道路旅客運送)
- 在庫量の大幅な増加に伴い、売上の減少が見込まれる。(倉庫)
- 在庫量の回復は期待できない。(倉庫)
- 新型コロナウイルスの影響が続くと思われる。(水運)